

HOPE^{plus}

【市立芦屋病院だより】



事業管理者
新年あいさつ

パンデミックの後に来るもの

市立芦屋病院 事業管理者

さ じ ふみ たか
佐 治 文 隆



新年おめでとうございます。

2022年は国内外で大きな出来事が勃発しました。ロシアによるウクライナ侵攻は、大国が独立国を力により屈服させんとする暴挙で、世界中の多くの国々が非難の声をあげました。にもかかわらず、プーチン大統領は戦争を遂行し、ウクライナの想定外の抵抗に遭って「核兵器の使用も辞さない」と恫喝する有様です。この戦争は食糧危機、エネルギー危機、諸物価高騰、景気停滞を生み出し、今更ながら世界は一つにつながっていることを実感させられました。

国内では安倍元首相が選挙応援演説中に銃撃、暗殺されるというショッキングな出来事が起こりました。しかもその原因が某宗教団体への政党ののめり込みと判明し、政界の闇が暴かれるなどのおまけもつきました。さらに元首相の国葬を首相が拙速に表明したことから、同時期に執り行われたエリザベス女王の国葬となにかと比較され、わが国の政治家の薄っぺらさが目立った年でもありました。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は昨年も猛威を奮い、次々と変異株が現れて夏の第7波では医療従事者の感染から医療崩壊が懸念されました。今冬は第8波の襲来とインフルエンザ流行が重ならないかと心配されています。その一方で政府は水際対策放棄、インバウンド旅行者歓迎、マスク不要論等々、経済優先に大きく舵を切っています。昨年10月からはコロナ患者専用病床への補助金も削減の方向を明らかにし、「喉元過ぎればなんとやら」丸出しです。「健康と命あってのものだね」とは考えないのでしょうか。

市立芦屋病院ではパンデミック後を見据えて、「経営強化プラン」を策定、セキュリティに配慮した医療ICT化に取り組み、DX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進します。コロナ禍受診抑制で生じたがんをはじめとする諸疾患の発見、救急医療体制の強化、優れた医療従事者の確保と育成などにも取り組み、もちろん新型コロナウイルス感染症などの新興感染症への対応も怠りません。

今年の干支は兎です。多くの目標を掲げても、「二兎を追う者は一兎をも得ず」とならぬよう自戒して病院運営に励みます。ご支援、ご協力をお願いいたします。



うさぎ
(ホーランド・ロップ種 六甲山牧場)



兵庫県薬事功労者表彰(知事表彰)、 兵庫県薬事協会会長表彰を 受賞いたしました！

令和4年度兵庫県薬事功労者表彰で、永年にわたる薬事関係業務の従事、業界の発展と後進の指導・育成及び県民の薬事衛生の向上等の功績に対し、兵庫県知事より、兵庫県薬事功労者表彰(知事表彰)、兵庫県薬事協会より、兵庫県薬事協会会長表彰をいただきました。



おかもと よしあき
薬剤科 部長 岡本 禎晃



かわむら ともひろ
川村 知裕

診療科：緩和ケア内科

専門分野：緩和ケア

新任Drのご紹介

先生から一言！

体に病気があってもできるだけ苦痛を少なくして、大切な時間を過ごすことは、人として大切なことです。皆さんに穏やかに過ごしていただけるよう、お世話させていただきたいと考えています。よろしくお願いします。

緩和ケア内科

このまきえ
緩和ケア内科 河野 真揮枝



(写真 左より)
菅野公認心理師／臨床心理士 松田特任部長 河野医師

緩和ケア内科は、病気によるさまざまなつらさを和らげ、患者さんご家族をサポートすることを目指しています。当科には緩和医療学会専門医と認定医、そして精神神経学会専門医と公認心理師が在籍しています。痛み、息苦しさ、倦怠感、吐き気などの体の症状だけではなく、不安、気持ちの落ち込み、不眠などの心の症状のケアも行っています。

緩和ケア病棟では、依然としてCOVID-19の影響で何かと制限はありますが、スタッフで協力しながら、季節のイベント、ZOOM面会、VR体験、アートセラピー、ピアノ演奏会も行い、患者さんが安らぎを得られるような工夫をしています。一人一人の患者さんのためによりよいケアと医療が提供できるように、医師、薬剤師、公認心理師、看護師、理学療法士、管理栄養士、MSW

などの多職種でのカンファレンスを定期的に行い、スタッフ皆で智慧を出し合っています。また、病棟にとどまらず、サポーターズケアチーム、外来など、どこでもいつでも必要とされる人が適切な緩和ケアを受けていただけるように体制を整えています。

緩和ケア病棟への入院は片道切符ではありません。令和3年度は約4割の方がご自宅に帰られています。疼痛コントロール入院、レスパイト入院、体験入院など短期的な入院もありますので、お気軽にご相談下さい。今後とも市民の皆さまの信頼をいただけますよう努力していきます。



公開講座

問合せ：芦屋市立公民館 0797-35-0700

時間 14時～15時30分 **場所** 芦屋市民センター401号室 **参加費** 1回 200円

日程	内容	講師
1月14日(土)	家族みんなで知っておくべき気胸のお話	市立芦屋病院 外科 南 正人 医師
2月4日(土)	脱腸(鼠径ヘルニア)かなと思ったら	市立芦屋病院 外科 佐々木 亨 医師
3月18日(土)	健康に生きる ～よりパーソナルなヘルスプロモーションのために～	市立芦屋病院 人間ドックセンター長 渡部 和子 医師

※新型コロナウイルス感染症の影響により中止になる可能性があります。

市立芦屋病院ホームページをご覧ください。上記の芦屋市立公民館へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

サポーターズケアチーム

薬剤科 部長 おかもと よしあき
岡本 禎晃

サポーターズケアチームは入院中や外来通院中のがん患者さん、心不全患者さん、慢性疼痛の患者さんなどのケアを医師、看護師、薬剤師、理学療法士、作業療法士、MSW、臨床心理士、管理栄養士で担当しています。

がん患者さんについては、診断時から緩和ケア認定看護師がかかわりを持つことを大切に考えています。つまり、病名告知や今後の治療方針の説明を主治医が行うときに同席させていただき、説明の補足や、医師には言いにくい不安や困りごとについて相談させていただいています。また、必要に応じてサポーターズケアチームで継続的なケアを行っています。その後、治療中の患者さんは、痛みなどの症状緩和や化学療法の副作用への対応、不安やスピリチュアルペインのケア、意思決定支援（治療の継続か中断について、療養先の選択など）、緩和ケア病棟へのスムーズな移行、ご家族のケアなどを行っています。入院中の患者さんには退院支援も行っています。



ピオスくん

ヒポちゃん

市立芦屋病院 サポーターズケアチーム
イメージキャラクター

心不全患者さんについては、主に入院中のみのケアになりますが、呼吸困難やせん妄などの症状緩和と、ご家族のケアを行っています。

慢性疼痛の患者さんについては、「お薬調整入院プログラム」で、複数の医療機関を受診した結果、多くなった鎮痛薬などの減量や、慢性腰痛の高齢患者さんへの安全なおピオイド鎮痛薬の導入を行っています。

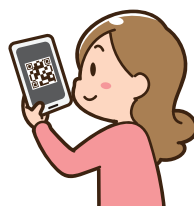


当院ホームページから連携医療機関の
ホームページへアクセスができます!!

パソコン、携帯電話
タブレットなどから
ご利用ください



QRコードは
こちらです



【連携医療機関URLホームページ】

<http://www.ashiya-hosp.com/gairai/iryoukikan.html>

市立芦屋病院 無料Wi-Fiサービス開始

ねっと版糖尿病教室のお知らせ

閲覧自由



令和4年4月1日より、当院を利用される方の利便性向上のため、全棟において**無料Wi-Fiサービス**をご利用いただけます。詳しくは病院ホームページまたは院内掲示にてご確認ください。

現在集合型糖尿病教室開催は中止しております。

そこで、糖尿病療養について

【ねっと版糖尿病教室】として情報発信をしております。
www.ashiya-hosp.com/kyoushitsu/tounyou.html



QRコードは
こちらです

事業管理者のつぶやき

市立芦屋病院 事業管理者 佐治 文隆

読めない漢字、書けない漢字

新年度に多くの企業が入社式を行います、芦屋病院でも同様に採用辞令の交付式があります。加えて年度途中の入職者を対象に月初めに辞令交付式もよく行われます。医療従事者は女性が多いため、男女共同参画の時代とはいえ夫の転勤や育児等で離職する職員があり、補充採用が必要になるからです。私が辞令を渡す際に、ハタと困るのが名前の読み方です。○子や○○子などはまずお目にかかることはなく、芸名やペンネームかと思うような名が続きます。咲南(さな)、汐音(しおん)、いずれもわが病院の職員です。みなさん、読めますか？

一生懸命 読みを聞かれる キラネーム

(毎日新聞・仲畑流万能川柳 東大阪・きくさん)
キラキラネームはパソコンに打ち込んで一発変換してくれません。みなさんは自分の姓名の漢字を伝えるときにどう表現されていますか。私の姓は、「にんべんに左の『佐』」と「おさめるの『治』」と言い、名は「文章の『文』」と「法隆寺の『隆』」と言うようにしています。「わたなべ」さんの場合は大変なようです。「普通のやつです」「難しいやつです」「その中間のやつです」と三通りあって、それぞれ「渡辺」「渡邊」「渡邊」を意味します(武田砂鉄「今日拾った言葉たち」暮らしの手帖社)。それ以外にも「渡部」も「わたなべ」と読みますよね。私は未だ「渡邊」「渡邊」をちゃんと書けなくて、「渡辺」で通すことが多々あります。

医学用語の漢字に関してはもったいないです。たとえば皮膚科で使われる苔癬(たいせん)、粧糠疹(ひこうしん)、疣贅(ゆうぜい)などは読めない、あるいは読めても書けない病名ではないでしょうか。電子カルテはもとよりパソコンもなかった学生時代の私などは、早々と皮膚科医は断念しました。医療分野の漢字が難しい理由として、ひとつは言葉の表す概念が難しい、あるいは概念はわかっても言葉が難しいと、二通り考えられます。前者の概念そのものが難しいのは、医学・医療と言うきわめて高

度な専門分野である以上は許容範囲だと思います。一方、後者でいう概念は理解できても言葉が難しいのはなぜでしょうか。(西嶋佑太郎「医学をめぐる漢字の不思議」大修館書店)

医学用語が難しいのは、「わざと難しい言葉を使っている」「業界用語を使って患者にわからないようにしている」などの批判があります。必ずしも否定はできませんが、多くの医学用語はそれなりの理由があって生まれていますし、わかりやすくしようとする努力も続けられています。今や日本人の二人に一人が罹患し、三人に一人が亡くなるという「がん」ですが、一般的には「がん」イコール「癌」とされています。しかし厳密には両者は異なるという考え方もあります。すなわち「がん」は悪性腫瘍全般を指し、癌種以外に肉腫や血液腫瘍も含みます。「癌」は癌腫と同じで、悪性腫瘍のうち上皮性のものをいいます。また「癌」という漢字は中国由来ですが、「癌」を悪性腫瘍という西洋医学的な使い方をしたのが日本であったため、「癌」という漢字は国字(日本製の漢字)と思われたようです。私の専門領域の産婦人科では、女性生殖器の「ちつ」を「腔」とも「腔」とも書きます。歴史的には蘭学者の大槻玄沢がオランダ語を「室」と訳した上で「腔(しつ)」とし、蘭方医の宇田川榛斎が「腔(ちつ)」と読ませ、緒方洪庵が「腔(ちつ)」を使用して広まったといわれます。

かほど医学用語の漢字は、その語源やその後の変遷も含めて難しいのですが、医療者が使いこなせているかという点が大間違いです。医学用語を検討する委員会出席者全員に書取りをさせたところ、「齧歯(うし)(虫歯のこと)」「痙攣(けいれん)」はほとんどの委員が書けなかったといえます。また医学生で「会陰」を「えいん」と読めたのはわずか5%だったというデータもあります。医療関係者も漢字には悩んでいるのです。

(2023.1.1)

事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧下さい。

市立芦屋病院 ご案内



※ 病院ネットワークバスもご利用ください 無料

交通案内

JR 芦屋駅、
阪急芦屋川駅から

タクシー
約7分

バス
約25分
JR芦屋駅、阪急芦屋川駅のりば2番

徒歩
約30分

市立芦屋病院の理念

病院理念

あい(愛)・しあわせ(幸福)・やさしさ(優しさ)

基本理念

芦屋市の中核病院として 地域社会に貢献します
患者の意思を尊重し 最善の医療と癒しを提供します



日本医療機能評価機構 認定施設(3rd G: Ver. 2.0 一般病院2)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1

TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822

ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>